

安全データシート
TissuePrep

作成日:2011年4月1日

改訂日:2020年10月1日

1. 製品及び会社情報

製品名	TissuePrep(ティッシュプレップ)
製品コード	TISP-580、TISP-565、TISP-555
会社名	株式会社ファルマ
住所	東京都渋谷区大山町 36-7
電話番号	03-6407-2570
FAX番号	03-3465-0300
電子メールアドレス	tokyo@falma.co.jp
緊急連絡先	080-8878-0242
推奨用途及び使用上の制限	試験研究用:病理組織標本作製用包埋剤

2. 危険有害性の要約(製品の情報はないので、成分のデータから区分を推定した)

GHS分類	いずれの項目も区分外、分類対象外又は分類できない
GHSラベル要素	
絵表示	なし
注意喚起語	なし

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別 混合物

成分及び濃度範囲

成分	濃度(%)	CAS番号	官報公示整理番号 (化審法)
① Clay Treated Paraffin Wax	94~96	64742-43-4	(8)-414
② Paraffin Waxes	4~6	8002-74-2	(8)-414

4. 応急措置

吸入した場合	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 気分が悪い時は、医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合	水で洗うこと。 皮膚刺激が続く場合、医師の診察、手当を受けること。
眼に入った場合	水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 眼の刺激が続く場合、医師の診察、手当を受けること。
飲み込んだ場合	口をすすぐこと。 気分が悪い時は、医師の診察、手当を受けること。
予想される徴候症状	急性症状:蒸気を吸入した場合、気道を刺激することがある。

眼及び皮膚を刺激することがある。
 飲み込んだ場合、消化器を刺激することがある。
 長期又は反復ばく露の影響：皮膚炎が生じることがある。

5. 火災時の措置

消火剤	粉末、二酸化炭素、水
特有の危険有害性	火災時に刺激性又は有害なガスが発生するおそれがある。 熱、火花及び火炎で発火するおそれがある。 激しく加熱すると燃焼する。
特有の消火方法	危険でなければ火災区域から容器を移動する。 安全に対処できるならば着火源を除去すること。
消火を行う者の保護	消火作業では適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置	作業には、保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を着用する。 必要に応じた換気を確保する。
環境に対する注意事項	漏出物を河川や下水に直接流してはならない。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	漏出物を掃き集めて空容器に回収し、後で廃棄処理する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策	取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。
安全取扱注意事項	溶解液に接触、吸入又は飲み込まないこと。 換気の良い区域でのみ使用すること。
衛生対策	取扱い後は手などをよく洗うこと。
保管	
安全な保管条件	容器を密閉し、換気の良い 30°C 以下の場所で保管すること。 酸化剤から離して保管すること。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度	未設定
許容濃度	
日本産衛学会(2018年)	①②未設定
ACGIH(2017年)	①記載なし ②2 mg/m ³ TLV-TWA(ヒュームとして)
設備対策	この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。 作業場には全体換気装置、局所排気装置を設置すること。

保護具

呼吸用保護具	必要に応じ、適切な呼吸用保護具を着用すること。
手の保護具	保護手袋を着用すること。
眼の保護具	保護眼鏡、保護面を着用すること。
皮膚及び身体の保護具	必要に応じ、保護衣を着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态

形状	固体
色	半透明又は白色
臭い	ほぼ無臭
pH	データなし
融点・凝固点	53～57℃
沸点、初留点及び沸騰範囲	322℃(沸点)
引火点	199～215℃
燃焼性(固体、ガス)	データなし
燃焼又は爆発範囲	データなし
蒸気圧	データなし
比重(相対密度)	0.9(水=1)
溶解度	水に不溶
n-オクタノール/水分配係数	データなし
自然発火温度	245℃
分解温度	データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	通常の条件下で安定
化学的安定性	通常の条件下で安定
危険有害反応可能性	可燃性。酸化剤、強酸類と反応する。
避けるべき条件	熱、火炎、発火源
混触危険物質	酸化剤、強酸類
危険有害な分解生成物	一酸化炭素、二酸化炭素

11. 有害性情報(製品の情報は無いので、成分のデータから区分を推定した)

急性毒性

経口	ラット LD ₅₀ : ①>10000 mg/kg、②>3750 mg/kg
経皮	ラット LD ₅₀ : ①>3600 mg/kg、②>3600 mg/kg
吸入:蒸気	データなし
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	IUCLID(2000)のデータから区分外

眼に対する重篤な損傷性又は 眼刺激性	固形パラフィンの IUCLID(2000)のデータに基づき、製品の濃度より区分外
呼吸器感作性	データなし
皮膚感作性	データなし
生殖細胞変異原性	データなし
発がん性	分類できない
生殖毒性	データなし
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	固形パラフィンの PATTY 5th(2001)に基づき、製品の濃度より区分外
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	分類できない
誤えん有害性	データなし

12. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性(急性)	データなし
水生環境有害性(長期間)	データなし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。

処理できない場合は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託すること。

汚染容器及び包装

空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国際規制

非該当

国内規制

非該当

注意事項

輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。

重量物を上積みしない。

本品はペレット状に成形されているため、夏期の長時間の輸送においては、30℃以上にならないように注意する。

15. 適用法令

労働安全衛生法

- ②名称等を表示すべき危険有害物
- ②名称等を通知すべき危険有害物
- ②危険性又は有害性等を調査すべき物

海洋汚染防止法

- ②有害液体物質(Y 類物質)

上記内容は当社で入手可能な情報に基づいて作成していますが、記載データや評価に関しては、情報提供であり、いかなる保証をなすものではありません。未知の有害性があり得ますので、取扱には十分ご注意ください。